

役員*企業*訪問

第39回 本会 東政弘理事 (大牟田電気工事協同組合 理事長)

今回は、東政弘理事が社長を務める株式会社東電業社を1月下旬に訪問しました。東社長に、会社の沿革と組合での活動について語っていただきました。



東政弘本会理事 (株式会社東電業社代表取締役社長)

企業概要

企業名：株式会社東電業社
創 業：昭和35年11月1日
代表者：代表取締役社長 東政弘
所在地：〒836-0004
福岡県大牟田市大字手鎌1525番地1
T E L：0944-52-7307
F A X：0944-52-7317

創業から62年、三代目の電気工事業者

—新型コロナの影響はありましたか。

東：うちの仕事にはあまり関係なかったですね。ただ物価が上がるのが大変です。電線とか金属関係が上がって、電線は倍くらいの値段になりましたから。仮に見積りの時に1メートル200円とかで出しているも、350円とかになると、電線が長ければ赤字になります。だから見積りの有効期限をきって、それ以降は再度見積りということにしています。

当社は、地元のエンジニア会社の下請けの電気工事が主な仕事です。工場の方が円高などで影響を受けたときには、大きな増設とかがなくなって、ぐっと仕事量が減ったりすることはありますが、比較的安定してますね。悪い時期はありましたが、極端に落ち込んだこともなく、その代わり極端にいいこともなかったです。

—ずっと増資されてますね。事務所も新しくして。

東：そうですね。平成8年に有限会社の組織替えしたときは資本金500万円で、平成13年に株式会社に変更して資本金1,000万円、その後二度増資して、現在、資本金1,511万円です。この事務所は、手ごろな土地が見つかったので平成29年に新築しました。

私の弟が専務、45歳の息子が常務で、現在従業員は12名います。

—平成13年から社長をされてるんですね。何代目ですか。

東：3代目です。昭和35年、1960年の創業ですから、62年経ちました。祖父は、台湾で電気の学校を卒業して、それから大牟田に来て、九電の前身の日発(日本発送電(株))という会社に勤めて、変電所関係の所長などをしていましたが、その後地元の工場に勤務して、ずっと電気関係の仕事をしていました。そして定年のときに、会社から電気工事業者として入ってくれと言われて創業したんです。

父は九電に勤めていましたが、やめて後を継いだという形です。わたしも3年くらい電気工事店に勤めていましたが、昭和52年くらいだったと思いますが、父親から人手が足りないから戻ってこないか、と言われて帰ってきました。

—電気で3代というのはすごいですね。

東：大牟田でもそうたくさんはいなくて、古い方ですね。



社屋外観



整頓が行き届いた事務所

面接では、独立する気概だと激励

—専門職なので人材育成が大変でしょうね。

東：電気工事士に育てるといっても5年くらいではモノになりませんから。もちろん早い人と遅い人の差はありますが。それと、新規募集の給与も上がっています。今いる10年くらいのベテランと同じくらいの金額でないと、ハローワークなどに求人を出しても面接にも来ない状況です。電気工事は外の仕事もありますから、暑いしきついし汚れるし、工場のなかでは、また汚れ方が違いますから。

—どの業界も人手不足で大変ですね。

東：だから、社員面接のときには、うちにずっと勤めるつもりで来なくていい、と言うんです。勉強して独立するくらいの気持ちで来なさい、と。電気工事士は一生食いつぱぐれがないですから。普通のサラリーマンだと60歳で辞めてそれから、ということになります。電気屋だと元気の限りは70歳になっても仕事はできるから、そういうつもりで仕事をしたほうがいいですね。ただ給料をもらってという考えでは、なかなか伸びませんし。

社員のなかには独立して家も建てて、という人がいます。だいたい十数年すれば独立できますから、能力がある人は自分でした方がいいです。

県組合の青年部長などを歴任

—県の青年部の会長もされています。

東：そうですね。平成8年から県組合青年部の協議委員、それから副会長をして、平成13年から2年間会長をやりました。当時は青年部も百数十名いて、九州の大会や東京にもいかないといけなし、富士の裾野で研修があったりしてたいへんでした。

—電気工事組合は、とても活動が活発ですね。

東：そうですね。私も一般会員するときですが、見積りの研修会を始めました。このくらいの工事だ

と電線や材料、期間がどれくらい必要で、とそれを見積りするための研修会です。積算が間違っていたら利益が出ませんからね。それが今も続いています。

その後、平成6年に青年部を立ち上げたんです。福岡県の青年部の立ち上げは遅かった方ですが、高齢者住宅の無料電気点検などもしました。今も各支部でいろいろやっていますが、大牟田では清掃をしたり、街路灯の掃除をしたりと、ボランティア活動もしています。現在の県組合の理事長も青年部の仲間です。

—組合では、技能競技大会も開催されてますね。

東：組合活動の方では、新型コロナの影響は相当あって、2年間は開催できませんでした。昨年12月に全国大会と技能競技大会が横浜アリーナでありました。いつもは県予選があって全国大会に行くんですが、県予選は中止して、これまで成績のよかった人を県で推薦して出しました。しかし、練習には時間もかかるし、人材や資金面で余裕のある会社しか、選手を出せませんね。競技大会は、一般の部と女子の部、高校生の部に分かれています。

—女性の技術者もいらっしゃるんですね。男性の職場というイメージがありますが。

東：今、女性が多いですよ。工業高校にも女子生徒がいて、増えています。これからは女性に広げていこうということで、電気工事組合全体で取り組んでいます。

インタビューを終えて

5年前に新築した平屋の事務所は、手鎌北町公園という広い公園に面した緑豊かな場所に清潔な佇まいで建っています。理事長は現在67歳、これまで大きな浮沈もなく、社員にも恵まれて私はラッキーでした、と話されましたが、その底に、早くから青年部の活動に取り組み、積算の勉強会を主導するなど、全体を慮る力があることを感じました。組合活動など公共空間での活動は、スキルアップや情報収集などの実利にとどまらず、経営に必要な精神を耕す場でもあるのだ、とあらためて気づきました。



(中小企業診断士
 蘭田久恵)